

ハートケア 通信

2022年 4月 号

発行：2022年4月1日

NO. 223

ハートケアグループ

〒583-0021 大阪府藤井寺市御舟町1-63

藤井寺オフィスビル

編集：ハートケア通信編集委員

TEL 072-931-2355

FAX 072-931-2730



ひな祭り オセロゲーム

デイセンターリハビリプラザ高槻では3/3のお雛祭りに、職員手作りのひな祭りオセロゲームを楽しみました。

おじゃみを投げ合いマスを取り合うこのゲームの勝敗は、女性チームが連戦連勝でした。



デイセンター
リハビリプラザ高槻



今月の特集

転倒予防で快適で安全な生活を・・・
(ハートケアグループ 転倒防止委員会の取り組み)

ハートケアグループ since1988

～快適をご利用者に 安心をご家族に～

(株)ハートケアホールディングス

(株)大阪ホームケアサービス

(株)メディケア・リハビリ

(株)青蓮荘

(株)マイオセラピー研究所

NPO法人ケア・ユニゾン

<https://www.medi-care.co.jp/>

ハートケアグループ

検索

(2022年3月1日現在)

◆介護保険ご利用者総数 5001名 (以下内訳)

- ・ケアプラン契約数 776名
- ・訪問介護事業 486名
- ・通所介護事業 1382名
- ・訪問看護事業 1825名
- ・福祉用具レンタル事業 532名

◆介護保険外ご利用者総数 1247名

- ・訪問看護事業 (医療) 829名
- ・個人契約ヘルパー6名
- ・訪問介護事業 (障害者総合支援) 28名
- ・有料老人ホーム 384名

◆住宅改修・福祉用具購入 (介護保険内外含む) 17件

◆障がい児通所支援事業 285件

◆職員数 953名

(上記の総数は複数のサービスを利用される方の重複を含みます)

ご利用者虐待防止相談窓口 TEL:072-931-7735 担当:井口

転倒予防で

快適で安全な生活を…

(ハートケアグループ)

転倒防止委員会の取り組み



ハートケアグループでは、週に1回(デイサービスは毎月1回)、転倒防止委員会を開催しています。

転倒防止委員会では、担当療法士、ケアマネジャー、福祉用具専門員、営業所介護福祉士など多職種が、転倒の原因を様々な角度から分析して、転倒予防のための取り組みを行っています。

今月と来月は、その取り組みの様子を2回に分けてご紹介します。今月は、介護サービス本部の部長で、転倒防止委員会メンバーの藤澤に話を聞きました。

転倒防止委員会では、営業所からあがってきた様々な転倒事例と再発防止報告書をメンバー全員で共有しています。そして、その方の再発防止策が本当にそれで良いか、他に何か良い対策はないか、それぞれの経験や専門知識を生かして話し合いと検証を行い、今後の対策の方針を決めています。

「これまで、どのような転倒の報告が多くあがっていますか？」

居室での転倒事例が多いですね。居室には職員が常にいるわけではないので、どうしても多くなるようです。夜間のトイレ移動や飲み物、リモコンなどを取ろうと一人で動かれた時などに起こっています。

「居室での転倒に対して、どのような対策を取っていましたか？」

居室の環境整備を行ってきました。例えば、職員がご利用者の動きを知り、訪室できるように、転倒リスクの高いご入居者のベッドに離床を知らせる見守り機器の設置や、床に足をつけると反応する離床センサーの設置など。またベッドからトイレまでの動線を検証し、その方の身体状態に合わせたベッド位置や向きの変更、手すりの設置。ベッド自体が危険な方には、低床・超低床ベッドの使用など、お一人おひとりが居室内でも危険を回避して動けるような環境整備を行ってきました。

取り組み事例

ご入居者S様の事例

変形性膝関節症、脊柱管狭窄症などの疾病があるS様。移動は車椅子で自走される。下肢筋力の低下を認識されていないので、居室内での転倒が数回続き、ご家族から就寝時はベッドに柵をしてほしいとの依頼がある。

委員会での検討

・トイレに行きたいという意思を持つて動かれているので、柵にしても乗り越えてトイレに行かれるのでは…。
・居室内では、目が覚めるとすぐに動かれている様子。下肢筋力の低下もあり、そもそもベッドの使用にリスクがあるのでは…。

◇居室内の見直し

—— ベッドの位置 ——
現在のベッドは、ベッドの両側から足を降ろせる状態。

—— 見守りの状況 ——

・巡回訪問は、他の方よりも頻回に行っている。

・マット型離床センサー(足で踏んだ時に鳴るタイプ)は設置しているが、トイレ側のみのため反対側から降りれば鳴らない。また、これまでセンサーが鳴って訪室しても既に転倒されていた。

検討後の転倒対策

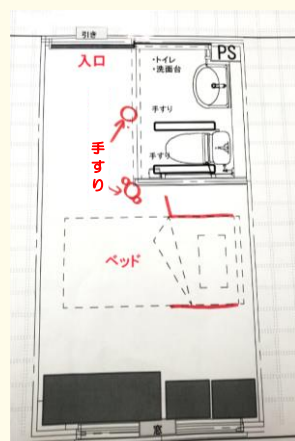
・現在のベッドを**超低床ベッドに変更**
・超低床ベッドの配置を**片側を壁に寄**

せて、反対側からのみ起き上げれるように移動

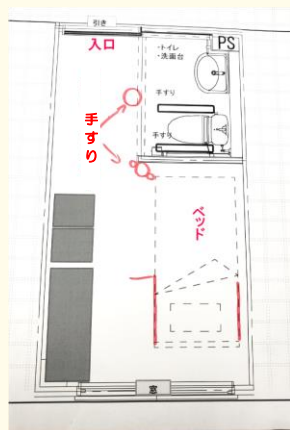
・マット型離床センサーを**赤外線センサーに変更**

S様の居室レイアウト図

レイアウト変更前



レイアウト変更後



これまでのマット型離床センサーでは、職員の訪室が間に合っていないかったため、赤外線センサーに変更してみました。S様が動き出だすと同時にコールが鳴り、職員も早く訪室することができて、しっかりS様の動きを見守れるようになりました。

令和4年度

ハートケアグループ
会社方針

コロナウイルスが発生して3年目を迎えますが、変異をくり返し世界各地で猛威を振るっています。まだまだ油断はできません。

奇しくも昨年の4月までは、ご利用者、職員ともに一人の感染者を出すこともなくきましたが、以降、全国的なコロナ感染の拡がりにより、当社も感染拡大をくり返すに至りました。

この一年はコロナとの戦いの連続でした。防護服着用での業務サービスの対応、物資の調達支援、ご家族への連絡、関係機関への連絡調整等、会社一丸となり営業所の職員や本社職員の奮闘、がんばりにより乗り越えてきました。

ご利用者、ご入居者とそのご家族の皆様には、サービスの制限など何かとご不便、ご心配をおかけしたと同時に、当社へのご理解・ご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。ワクチン接種や治療薬の開発により、感染拡大は抑えられつつありますが、重症化リスクの高い高齢者や障害のある方は、油断できません。今後もワクチン接種を推奨し、会社としてできる限りの感染対策を徹底してまいります。

令和4年度 経営方針

昨年度は、5月に児童発達支援事業、保育所等訪問支援事業『PARCじょうよう』が城陽市に開設、12月に大型の通所介護施設『リハビリプラザ高槻』が高槻市に開設しました。

今年度は、4月の同時期に三重県松阪市に『メデイケア・リハビリ訪問看護ステーション松阪』が事業化、本社に紹介センター『シニアフリー』が事業化されます。令和5年度秋頃には、守口市に大型の通所介護施設を建設予定で、冬頃には寝屋川市宝町に、同市内で2番目の有料老人ホームを建設予定です。

総合介護サービス会社として、ご入居者、ご利用者の皆様に喜んで頂けるようサービスの資質向上・顧客満足度の向上を目指していきます。

ハートケアグループ代表

下田 晃司

1. 入居者、利用者の獲得を目指す

2. 人材の確保・定着・育成を目指す

3. サービスの資質向上を目指す

4. コロナ感染対策の継続に尽力する

5. 様々な変化に順応できるよう備えを万全にする体系化(ルール化)マニユアル化(システム化)の推進と活用

また、超低床ベッドにしたことで、ベッドから降りるという動きではなく、ベッドから起き上がるという動きになり、転倒の危険もかなり回避できるようになりました。

委員会では、自分で動きたいというご利用者の想いやまだ動ける方の自由を奪うことなく危険から守れるような対策を検討してきました。超低床ベッドの導入やセンサーコール変更もそうした観点からの対策です。ご家族にもセンサーコールの設置を了承いただき、S様の転倒予防に取り組みしました。

その他、どのような転倒ケースがあり、どのような対策を取れてきましたか？

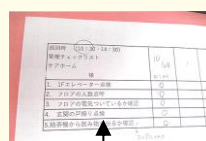
「ふらつき」が原因で転倒に繋がるケースもあります。そうしたケースでは、ふらつきの原因を委員会です話し合い検討します。

例えば、睡眠剤の服用がふらつきの原因になることもあり、睡眠剤の種類や量が適切かどうかの確認で、医療機関への再受診を促したり、日中の睡眠傾向がふらつきのリスクにもなるため、夜間の睡眠リズムが把握できる機器「眠りスキャン」をベッドに設置し、

睡眠状態の把握や、日中起きていただけるような生活リズムの改善に取り組みしました。



生活リズムの改善に取り組んでいるご利用者。以前のお仕事を活かし、日中に施設内の巡回のお仕事を願って、お昼に活動する生活リズムを作っています。



検点した作成表
が作成した
職員巡回

転倒防止委員会では、お一人おひとりの身体状態はもちろん、生活習慣や性格など様々な視点から検証し、常にその方に合った対策を取れるよう心がけています。次回は、療士も関わっての運動プログラムを取り入れた対策を紹介したいと思います。

介護サービス本部

本部長 藤澤千穂

ハートケアグループの コロナ対策

オミクロン株による感染者数の急増で、全国の高齢者福祉施設では、その対応・対策に奮闘する日々が続いています。

ハートケアグループでも刻々と変わる営業所の状況を本社が共有し、常に必要な対応（必要な物資の補充、配達、応援スタッフの配置など）を迅速に行っています。

コロナ濃厚接触者の待機期間の変更

濃厚接触者が増え続ける中、政府による濃厚接触者の待機期間は最終接触日から10日間であったところ、現在では7日間に短縮、変更されました。

さらに、**社会機能維持者の待機期間は待機4日目と5日目に抗原定性検査で陰性が証明されれば、5日目から解除され、職場復帰できるようになりました。**

職員の人員確保へ迅速に対応

政府の方針を受け、ハートケアグループでは、政府公認の抗原定性検査キットを購入し、濃厚接触者で自宅待機している職員が一日でも早く勤務できるように対策を整えました。

コロナ禍の緊急事態にも、職員の人員確保ができるよう最善を尽くしています。



今後ご利用者、職員の生活や命を守るために、営業所へのサポート体制を万全にしてコロナ対策に努めていきます。



ラジオ体操の すごさを 知って いますか？



気候も徐々に暖かくなってきて、外に出る機会も少しずつ増えてきているのではないのでしょうか。

年度初めの4月、この機会に心機一転、何か1つ継続できることを見つけてみませんか？

私のオススメは「ラジオ体操（第1）」です！今回は「ラジオ体操」の良さをお伝えします！

「ラジオ体操」は13種類の動きから できています

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 伸びの運動 | 7 体をねじる運動 |
| 2 腕を振って足を曲げ
伸ばす運動 | 8 腕を上下に伸ばす運動 |
| 3 腕を回す運動 | 9 体を斜め下に下げ胸を
そらす運動 |
| 4 胸を反らす運動 | 10 胸を反らす運動 |
| 5 体を横に曲げる運動 | 11 両足で跳ぶ運動 |
| 6 体を前後に曲げる運動 | など… |

文字で見ると難しそうに思いますが、実際に体を動かしてやってみると簡単な動きが多いです。

「ラジオ体操」の効果

- 1 基礎代謝向上、血管年齢の若返り
- 2 脂肪燃焼効果、体内年齢の若返り
- 3 血行促進による首こり、肩こり、腰痛の予防・解消
- 4 骨粗しょう症予防 などがあります

実際にラジオ体操を継続することで「体内年齢」「血管年齢」「呼吸機能」「骨密度」などの健康状態を示す数値が良好です。時間としては3分程度、家の中でもできる手軽な運動でこんな効果を得られるのはすごいですよね！

とはいえ、ラジオ体操は意外に負荷の高い運動です。朝起きてすぐに行うことは控え、朝食や朝の身支度を終えた頃、体が温まってから行うことをお勧めします。

メディケア・リハビリ
訪問看護ステーション京都
理学療法士 坂井 拓也



有料老人ホーム 空室情報

○…随時入居可 △…若干名 満…待機

青蓮荘	満	コンフォート門真	○	コンフォート大東	○	ケアホーム加美	△
ケアホーム長吉	満	ケアホーム伊賀	○	ケアホーム寝屋川	○	ケアホーム藤井寺	○
ケアホーム俊徳道	○						

※空室情報は変動することがあります。 お問い合わせ窓口 ☎ 0120-255-616 平日9時～18時 2022年3月現在